

Mid-college “Be Strong” Program in Washington, D.C.

世界政治にも影響ある

ワシントンにて現地研修を行います！

国際的な教養の修得および実践的な場での英語運用能力を高めたい方を対象としたプログラムです。グローバルリーダーが集まるワシントンD.C.で実際に働く人々や学ぶ学生との出会いを通して、真のグローバルリーダーシップとは何かを探ります。



◆今出川校地◆

【日時】 2026年4月9日(木) 11:00-11:30

【会場】 弘風館 35教室

事前講義

(春学期 約13コマ)

グローバル社会が直面する
課題や訪問先に関する
授業を受ける

講義内容(例)：

- ・ Introduction to U.S. News Media
 - ・ The Geographical Features of Washington, D.C.
 - ・ Issues in Japanese and U.S. Economy
 - ・ The World Bank: Basics and Beyond
 - ・ History of U.S.-Japan Relations
 - ・ Politics and Everyday Life in Japan and the U.S.
- など計13コマ

※授業はすべて英語で行われます。

現地フィールドワーク (ワシントンD.C. 約10日間)

政府関係機関、国際機関、
民間団体、企業などを訪問し、
特定の課題について議論する

渡航時期：2026年8月25日～9月3日(予定)

現地研修先(予定)：

- ・ アメリカ合衆国議会議事堂
 - ・ 最高裁判所
 - ・ 世界銀行
 - ・ ワシントン大聖堂
 - ・ 国立アメリカ歴史博物館
 - ・ 日系企業訪問
- (2024年度：ダイキンU.S.社, 中日新聞・東京新聞 アメリカ総局)
- ・ 現地大学生との交流 (2024年度：ジョージ・ワシントン大学)
 - ・ 同志社大学卒業生との交流会 など

事後講義

(9月中旬 2コマ)

事前講義及び現地研修を通じた
レポート作成、報告会を実施





Mid-college "Be Strong" Program in Washington, D.C.

2024年度現地研修スケジュール(実績)

研修費用(実績) 1名あたり 58万円

	2024年	日 程 表	食事・宿泊地
1	8/20 (火)	伊丹空港集合 羽田空港を経由してワシントンへ 到着⇒専用車にてホテル(Residence Inn Washington, DC National Mall)へ	朝: - 昼: ○機内 夕: - (ワシントン泊)
2	8/21 (水)	・最高裁判所 ・アメリカ合衆国議会議事堂 ・ユニオンステーション ・国立アフリカ系アメリカ人歴史博物館	朝: ○ 昼: - 夕: - (ワシントン泊)
3	8/22 (木)	・ワシントン大聖堂 ・DuPont Circle ・国立アメリカ歴史博物館	朝: ○ 昼: - 夕: - (ワシントン泊)
4	8/23 (金)	・世界銀行 ・国立アメリカ・インディアン博物館	朝: ○ 昼: - 夕: - (ワシントン泊)
5	8/24 (土)	自由研修	朝: ○ 昼: - 夕: - (ワシントン泊)
6	8/25 (日)	自由研修	朝: ○ 昼: - 夕: - (ワシントン泊)
7	8/26 (月)	・日系企業訪問(ダイキンU.S.社 / 中日新聞・東京新聞 アメリカ総局) ・同志社大学卒業生との夕食交流会	朝: ○ 昼: ○ 夕: ○ (ワシントン泊)
8	8/27 (火)	・日本大使館 ・ジョージ・ワシントン大学(現地大学生とのランチ交流会・セッション)	朝: ○ 昼: ○ 夕: - (ワシントン泊)
9	8/28 (水)	ワシントンDC発	朝: - 昼: - 夕: ○機内 (機中泊)
10	8/29 (木)	帰国	朝: ○機内 昼: - 夕: -

※視察先移動には専用車または、地下鉄など公共交通機関を利用します。
※上記スケジュールは2024年度の実績です。2026年度の現地訪問先等は、変更になる場合があります。

2026年度
研修費用
(予定)

1名あたり 540,000円 ~ 580,000円程度

※参加人数により変更する場合があります。 ※宿泊は3名一室です。
※研修費用は変動する可能性があります。

プログラム修了時には、5万円の奨学金が給付されます。

費用に含まれるもの

ワシントン往復航空運賃、コーディネート費用、宿泊費、滞在中の移動、ガイド、研修実施費用、各訪問先の移動費、各訪問先への謝礼、各訪問先での研修費用、行程表記載の食事

費用に含まれないもの

日本国内移動費、海外旅行者保険料、日本と海外の空港税、燃料サーチャージ、電子渡航認証ESTA登録費用、プログラム期間中の傷害・疫病に関する医療費・電話代・ルームサービス・洗濯代などの個人的費用

登録にあたっての留意事項

- 1. 当科目の開講年度・学期は「2026年度春学期」ですが、成績の付与は、2026年10月以降です。そのため、再修生で9月卒業予定者は、登録することができません。再修生で登録を希望する人は、出願時に所属学部にご相談してください。
- 2. 春学期中の事前授業(水曜6・7講時(予定)_今出川校地)と事後授業(9/16(水)3・4講時(予定)_今出川校地)には必ず出席してください。登録エラーが生じる他の授業は登録できません。
- 3. 現地研修期間が重複する他の授業を同時に登録することはできません。出願時の併願や、本科目合格後に出席することもできません。
- 4. 科目登録後のキャンセルは基本的に認めません。参加について十分に考慮し、必ず保護者の承諾を得てから出願してください。参加決定後にキャンセルをされた場合、費用の払い戻しは行われません。(費用納入前であっても、キャンセルに伴う費用は受講者負担となります)。
- 5. 合格者が最少催行人数に満たなかった場合、プログラムは実施されない可能性があります。また、参加者決定後、キャンセルにより参加者が最少催行人数を下回り、プログラムの開催が不可能となった場合も同様です。
- 6. 参加費用の納入は数回に分けて行います。具体的な納入金額と期限は参加決定者へ別途連絡いたします。なお、参加決定後に発生する渡航準備に関わる費用については、手配を進めた時点で実費をご負担いただきます。
- 7. プログラム出発前に、外務省の海外安全ホームページにて発表される危険情報および感染症危険情報「レベル 2: 不要不急の渡航は止めてください。」もしくはそれ以上が発出された場合や、入国後もしくは帰国後に隔離措置がとられる場合、プログラムが中止となることがあります。その場合、納入いただいたプログラム参加費用の一部または全額をお返しできないことがあります。なお、プログラム開始後であっても大学長による帰国勧告等が出された場合は帰国しなければなりません。あらかじめご了承ください。
※外務省海外安全ホームページ
<<https://www.anzen.mofa.go.jp>>
- 8. 世界情勢や為替レート、またスケジュールや参加人数の変更、航空運賃の高騰などさまざまな要因により、現地研修費用が変動する可能性があります。事情により金額不足が生じた場合は不足分を追加徴収します。
- 9. 現地研修の出発・帰国に関しては、参加者全員で団体行動をとります。単独行動は認められません。
- 10. 参加にあたっては、研修先機関および本学の定める誓約事項を厳守してください。

【出願期間】 2026年4月9日(木)9時~20日(月)17時 【締切厳守】

出願資料やスケジュールの詳細は本学オフィシャルサイトの海外フィールドワーク科目ページに掲載していますので確認してください。

<https://www.doshisha.ac.jp/international/fieldwork/index.html>

